

# 柘植地域 まちづくりだより 第264号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町10647番地

(柘植地区市民センター内)

〒519-1402  
電話 45-888800 FAX 45-888833

発行日 2021(令和3)年1月1日(金)

柘植地域俳句コーナー  
初釜や  
侘助一輪  
綻びて

北鳴ら息子

## 新年 おめでとう

### ごげいします

柘植地域まちづくり協議会

会長 城出 憲一



柘植地域の皆様方におかれましてはご健勝で良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は、まちづくり協議会の諸活動にご支援とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと「コロナ」に始まり「コロナ」に終わった感があります。1月に中国武漢で新型コロナウイルスの感染が確認され、2月には豪華客船での感染拡大が報じられました。その後、世界各国に感染が広まり、日本では5月に非常事態宣言が発令され、学校は休校を余儀なくされました。

柘植地域まちづくり協議会におきましては、5月の定期総会には議決権行使という形式を執らせていただき、皆様のご理解により

## コロナ禍の今、この時代をいかに切り抜けるかが問われる年...

各議案について、賛成多数により可決していただくことが出来ました。ありがとうございました。

また、各委員会や部会等の各事業に触れますと、2月19日には柘植駅構内でJR亀山鉄道部の協力をいただき無事記念式典を終えることが出来ました。併せて跨線橋に「柘植のほんとかるた」をパネル化した掲示いたしました。今後柘植の宝として伊賀市の東の玄関口である柘植駅を多くの方に利用して頂き、柘植のことを知っていただければと思っております。

また、12月には野村地内の倉部区に通じる県道の信号交差点に、以前の柘植公民館の案内表示を利用し、草津線サポーター事業の支援を受け「柘植駅まで2000メートル」の柘植駅案内表示看板を設置いたしました。

防災関係では、新型コロナウイルス感染拡大の中、11月に3密を避けるため参加者を必要最小限にとどめ防災訓練を実施しました。

区長様にご協力いただきました分散避難に関するアンケートは集約し今後の参考にしたいと考えています。

柘植福祉ネットワーク会議についても1月に福祉交流会を開催し、更なる結束を固めました。

その他部会活動においても、感染対策に配慮しつつ、研修会や施設見学など趣向を凝らし実地いたしました。部会員をはじめ多くの方々にご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。

また、昨年10月には、伊賀市の「第2次伊賀市総合計画・第3次計画(中間案)」についての諮問があり、当協議会としまして、答申書並びに「自治基本条例見直しに関するアンケート」を提出いたしました。伊賀市の大きな改革として支所のあり方が取り沙汰されていますが、良い方向に進めるべく議論を重ねて行かなければならないと考えています

2021年(令和3年)は、東京オリンピック・パラリンピックが7月から8月にかけて開催されます。また、9月から10月にかけては、三重とわか国体の開催が予定されており、現在ボランティア・スタッフの募集が進められています。

多くを述べましたが、コロナ禍の今は、皆が耐える時期ではありますが、新しい時代に  
 応じた生活スタイルに変える良い機会でもあ  
 ります。必ずや明るい兆しがあることを信じ、  
 一日も早い収束を願っております。  
 結びに皆方にとつて健康で希望に充ちた一  
 年になりますようご祈念申し上げ挨拶とさせ  
 ていただきます。

## 新年のあいさつ

伊賀市長 岡本 栄



あけましておめでとうござ  
 います。柘植地域の皆  
 さんには、新春をお迎え  
 のことと心からお喜び申  
 し上げます。旧年中はも  
 とより、日ごろから市政  
 の運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く  
 お礼申し上げます。

また、先の市長選挙におきまして、皆さ  
 んの暖かいご支援をいただき、引き続き市  
 長として、伊賀市の舵取りをさせていた  
 だくことになりました、改めてその責任の重  
 さを痛感しているところでです。

さて、昨年から猛威を振るっている新型  
 コロナウイルスですが、伊賀市においても  
 感染拡大が大変心配されます。年始は、会  
 食の機会が多くなると思いますが、感染リ  
 スクが高まる「5つの場面」を参考に、各  
 自それぞれに感染防止対策の徹底をお願い  
 したいと存じます。市においても、感染防  
 止、市民サービス、市民生活の更なる向上  
 を目指し、その為に必要となるデジタル化

等の取組みも一層推進して参ります。

そして、その柱は、「こども、くらし、  
 にぎわい」の3つです。先ず、地域の宝で  
 ある、子どもを安心して産み、育てること  
 ができるよう支援していきたいと考えてい  
 ます。「くらし」では、人権を尊重し安心  
 安全で、地域住民が支え合い、生きがい  
 感じられる共生社会の実現を目指します。  
 加えて、JR関西線の電化促進・接続改善  
 I-COCA利用エリアの拡大など要望行動  
 を行い利便性の向上を図りたいと考えま  
 す。「にぎわい」では、「日本の20世紀遺  
 産20選」に選ばれた街並みを活かした観光  
 まちづくりの取組みを拡大し、ひいては農  
 山村の自然環境など地域資源を最大限に活  
 かした観光戦略と賑わいの創出につなげ  
 たいと思っています。

ます。

引き続き、伊賀の元気づくりに向け、全  
 力で取り組んで参ります。今後ともより一  
 層のご理解とご協力を賜りますようお願い  
 いたします。

結びに、貴協議会の益々の発展と皆さん  
 方のご健勝、ご多幸を祈念いたしました。新  
 年の挨拶とさせていただきます。

## 2021年新年のご挨拶

伊賀市議会議員 山下 典子



あけましておめ  
 でとうございます。

皆様方にはご健勝  
 で新年をお迎えの  
 ことと心よりお慶  
 び申し上げます。また、新型コロナウイルス  
 又感染症は未だ収束する気配が見られず、  
 ご不安は如何ばかりかと心中お察し申し上  
 げます。私も行政と共に地域の皆様の安全  
 安心を守りお支えできるよう邁進してい  
 く所存です。

その新型コロナウイルス感染症の外来診  
 療・検査体制ですが、昨年11月には伊賀保  
 健所に「受診相談センター」が設置され、  
 市内の一定数の医療機関が「診療検査医療  
 機関」の指定を受けました。その結果、診  
 療から検査判定までが市内での機関で完結  
 し、検査当日に結果が判明するようになり  
 ました。今後皆さんがより安心できるよう  
 う、コロナ対策の充実を求めていきたいと



思いません。

また、今年秋開催予定の「三重とわか国体・とわか大会」両大会の開催及び閉会式がコロナウィルス感染拡大防止の理由で史上初のオンラインで行うことが決定しました。このように新型コロナウイルス感染拡大によって世の中のあるり方、社会・経済のシステム等が変わってきたことも認識しなければなりません。

現在、令和3年度から令和6年度までに実施する施策や事業をまとめた伊賀市総合計画の第3次基本計画の策定を進めています。「コロナ」の先の伊賀市の元気づくりをしっかりと考えていきたいと思っています。



その「元気づくり」ですが、昨年11月に岡鼻区のイルミネーション作りに参加させていただきました。元気をいただきました。テーマは、「つながり」で2月10日まで点灯されるということ。未知のウィルスの渦中において、人と人、人と地域の結びつきの大切さをあらためて実感させていただきました。今年も「絆」を大切に皆さんの声を市政に届けていきたいと思っています。

結びに、柘植地域の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

### 柘植地域 さるドコネット連絡会

これまでにも紹介してきました柘植地域さるドコネット連絡会(仮称)の定例研修会が、12月8日(火)の午前、市民センター他で開催され、県・市・地元が連携して活動しました。

今回は、伊賀Cグループに装着を任されている「GPSからの電波を受信してみよう」ということで、実際にアンテナと受信機を持ち、サルの居場所を確定する練習をしました。場所は加太の板屋インター付近(左写真)で、南方の山林の中に行き、発信音を聞くことで確認できました。



産業交流部会の有害鳥獣対策事業では、住民の皆様からの情報提供と情報共有、さらに工サ場を減らす対策などを行っていただきます。必要のない柿の木を伐採するなどの対策も始めていただいています。



被害に会われた方や関心のある方は、まち協事務局まで是非ご連絡いただきますようお願いいたします。

### 未来の社会を考える

つげふくしネット

11月21日(土)午後、市民センターで福祉交流会を開催しました。参加者は柘植地域の区長、民生委員、健康福祉部会員らに柘植福祉ネット委員ら30名が参加。お楽しみおじさん「まるたせんせ」のお話しに続き特技披露の第1部と、社会福祉協議会の野田コーディネーターによる自由ミーティングの第2部というユニークな2部構成で活動しました。



第1部の五島丸太さんは、元特別支援学校の先生。退職後はパフォーマーとしてギターやマジック、落語、ゲーム等にて各地で大活躍。各区のサロンでも十分使える内容を披露していただきました。定年後の自由時間をいかに使うかは、一人ひとりの「やる気次第」との言葉をいただきました。

### 2040年問題を見越した活動を!



第2部の野田守さんからは2025年問題の次に来る2040年問題についての話があり、安心して柘植に住み続けられる郷づくりが喫緊の課題となっていることがわかりました。

どんな病気よりも「孤独」という病気ほど怖いものはない (マザーテレサ)

柘植駅案内表示板設置



12月4日(金)午前、産業交流部会の「柘植駅・駅周辺の観光面充実事業(草津線地域サポーター支援事業)により制作した案内表示看板のお披露目式を挙行了しました。

ご来賓の皆様(敬称略)  
前澤和也(伊賀市伊賀支所長)  
笠井賢治(伊賀市文化財課長)  
中原康雅(伊賀まち公民館長)  
清水則雄(柘植地区市民センター長)

全国から来られる方々に伊賀の東玄関「柘植」を覚えてもらいましょう

当日は、城出会長のあいさつ、前澤和也伊賀支所長からの祝辞の後、除幕。新聞社の取材もあり、柘植駅や柘植周辺の観光に一役買うことになっていくと思います。



この看板は令和2年の3月末で閉館となった柘植公民館(柘植歴史民俗資料館)を案内していた看板でした。

4月になってから、示す宛の無い看板(上写真)を見て、何人もの方々から、「意味のない状態にしておくより、何か再利用できないのかなあ?」「柘植駅ってどこかわかりにくいし、せっかくの「三重県で最初にできた駅」をPRしたらどうかかな?」という意見をいただきました。

市に問い合わせると「地域振興のためなら・・・」との返事があり、それならば、地域の声を活かしたいという発想が出発点となったというわけです。そしてこのたび見事、地域をよくしていこうと思う気持ちがこうして形になりました。

柘植駅のことにかかわらず、地域をよくしていくための様々な角度から建設的な意見をまちづくり協議会までお寄せください。

柘植駅内外の美化清掃



と連携した取り組みとなりました。

12月19日(土)午後、産業交流部会柘植駅とその周辺の年末大掃除を亀山鉄道部のご理解の下、「柘植駅を守る会」と「笑みの会」の協力を得て産業交流部会が行いました。(12名参加)今回は、伊賀市国体推進課(三重とこわか国体伊賀市実行委員会事務局)の事業おもてなし大作戦(クリーンアップ運動)



おもてなし大作戦についてのお問い合わせは、43-9102(国体推進課)まで





**2020年度 いがまち**  
**差別をなくす強調月間**  
11/11(水) ▶ 12/10(木)  
2020年度 伊賀市人権作品 [伊賀市所管内]

**作文【優秀賞】**  
題名『中友という場所』  
中学生の部 柘植中学校3年 橋本 も え さん

**標語【優秀賞】**  
標語 一人でも 声を出したら 変わりだす  
小学生の部 柘植小学校5年 松山 歩 夢 さん

**標語【佳作】**  
標語 その言葉 書きこむ前に 立ち止まる  
中学生の部 柘植中学校3年 林 梨 心 さん

**作文【入選】**  
部門 題名 学校名 名前  
小学生の部 『自分をふり返って変わった気持ち』 柘植小学校6年 富田 彩 晴 さん

**ホスター【入選】**

部門	学校名	名前
小学生の部	柘植小学校2年	片岡 瑠 蓮 さん
小学生の部	柘植小学校6年	柴 彩 葉 さん
中学生の部	柘植中学校2年	杉 間 春 花 さん

**入賞おめでとうございます**

**標語【入選】**

部門	標語	学校名・地区名	名前
一般の部	あらゆる差別の問題を あなたは 残す当事者ですか? なくす当事者ですか?	柘植町	内田 香代 さん
一般の部	人権の第一歩は 相手を思う心から	柘植町	内田 真也 さん
一般の部	認めよう 多様な個性 見つけよう すばらしい個性	柘植町	前 篤 卓 弥 さん

例年なら、世界人権デーまでの約一か月間、「差別をなくす強調月間」のイベントが行われるのですが、今年は残念ながら紙上や冊子（回覧等されています）での発表になりました。  
柘植地域分を『まちづくりだより』に再掲いたします。

## つげTheフォーラム 開催される!

12月8日(火)午後、柘植中学校で柘植中学校生徒と地域や教育関係者等、約80名が柘植中学校体育館に集まり、おとな・こども混合で9つのグループに別れ、「人権アンケート」に基づいた話し合いを行いました。

子どもたちが自分たちの立ち位置を探るため、地域や保護者の意識との比較を目的にした調査をし、自分たちの目標を明確化しようとしたこの取組みは特筆すべきものです。

受け身ではなく能動的な態度は、「人権文化に満ちたまちづくり」に欠かせません。コロナ禍の今、人権意識が問われています。これからも頑張ってもらいたいです。

なお感染拡大防止のために当日参加できなかった小学生のフォーラムも1月に計画されていますので、おおいに期待をしたいところです。

## 生徒たちから地域の人に向けてのメッセージです!

フォーラムを通して地域の方々の意見を聞き、自分たちだけでは気づけなかったことをじっくり考える機会となりました。

意見を出し合うたびに、新しい考えが生まれたり、自分の意見が明確になったりしてとても面白かったです。

これからもこのような幅広い取組みや活動を続けていきたいです。今後ともよろしくお祈りします。



# 人口3,313人 高齢化率42%

## 柘植地域の現状をデータで見てください



新年に当たり柘植地域の将来を考える材料にしてみてください！

★下表の数値は、市のホームページで閲覧できます。

▶ QRコードで市統計をチェック

データは「外国人や区入りされていない方」等を含んだ総数です。(区民数とは異なります)

### 柘植地域の基礎データ

令和2年11月末現在

字名(区名)	世帯数	人口	男	女	高齢化率(昨年からの変化)	
東部	岡鼻	71	157	80	77	47.0%→49.7%
	小林	189	361	190	171	47.4%→47.6%
	柘植青葉台	143	363	176	187	21.3%→21.1%
中部	上町	105	274	136	138	40.6%→42.2%
	下町	133	321	145	176	44.6%→45.5%
北部	倉部	103	257	124	133	43.7%→47.3%
	小杉	93	273	127	146	41.9%→44.0%
南部	山出	70	161	78	83	53.3%→57.8%
	前川	220	456	225	231	37.5%→40.4%
	上村	42	118	58	60	46.3%→44.5%
西部	野村	74	203	94	109	43.6%→42.9%
	中柘植	169	369	179	190	39.7%→40.4%
柘植地域合計		1,412	3,313	1,612	1,701	40.8%→42.1%
昨年同期比→		11減	89減	44減	45減	1.3%増

柘植の未来を考える材料になればと、一年に一度、掲載している人口表です。

※高齢化率は令和2年9月末現在 65歳以上人口 1,406人(9月末)

## 感染拡大防止強化期間

12月16日～翌年1月8日

- ・ 学校施設新規予約の停止
- ・ イベント等開催自粛協力をお願い

※人が集まる場合は

**少人数 短時間 感染対策徹底**

市内でも新規感染者がなくならないという厳しい状況が続いています。ここで大切なことは、少しでも感染を拡大させないこと。自分事として、年末年始の活動も慎重にしたいものです。

※上記のフリップは伊賀市総合危機管理課作成のものです。

賀正

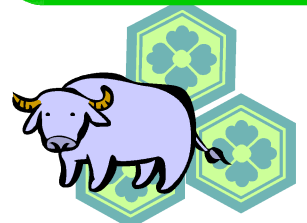


柘植地域まちづくり協議会

少々、余分もありませんので、不足の場合は、各区長様までお問い合わせください。

新年「門松絵札短冊」配布

歳の暮、各区長様を通じて、例年お届けしています。



▼激動の2020年から2021年に！▼この冬、いがまちでは恒例の人権イベントが開催できずじまい。▼深刻な感染拡大とコロナ差別。これまでの人権啓発の成果が問われます。▼究極の啓発は「自己啓発」。他人事ではなく、私たちが自身の問題です。▼さて、懸案の支所廃止に関して考えたいことがあります。それはいがまち人権啓発推進本部の行く末です。▼新年、令和3年が一人一人にとって、また地域にとってよい年となりますように。(西田方計)

★☆☆事務局だより☆☆★